

講座  
22

## シューマンの後期の創作と生涯

【定員】150名 【受講料】2年会員 14,380円 1年会員 16,060円 聴講生 21,080円

【音楽・芸能】 音楽 I 講座 【時間】 10時30分～12時00分、（計12回）

**概要** 1844年になるとシューマンは最初の精神の危機を迎えます。そのために住み慣れたライプツィヒからドレスデンに転居し、回復することができました。その後1850年からデュッセルドルフの音楽監督となりますが、ふたたび精神の危機に陥り、1854年2月、発作的にライン川への投身自殺を試み、最後はエンデニヒの施設で生涯を閉じることになります。この講座ではシューマンの波乱万丈のこの時期の作品について取り上げてまいります。

回	月/日（曜）	会 場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/2(木)	新百合21ビル B2 多目的ホール	精神の危機と「ピアノ協奏曲 イ短調」による復活	桐朋学園大学名誉教授 西原 稔
2	10/9(木)		休 講	
3	10/16(木)		休 講	
4	10/23(木)		「子供のアルバム」の創作と家族愛	
5	10/30(木)		「ピアノ三重奏曲 第1番」と室内楽創作の復活	
6	11/6(木)		演奏会 【演奏曲】「3つのロマンス」作品94(ヴァイオリン版で) 「幻想小曲集」作品111 ほか *1	
7	11/20(木)		創作の第2の頂点1849年 その1－「小協奏曲」を中心に	
8	12/4(木)		創作の第2の頂点1849年 その2－「幻想小曲集」を中心に	
9	12/11(木)		後期の声楽作品－「《ファウスト》からの情景」とリートを中心に	
10	1/15(木)		デュッセルドルフでの活動と「交響曲 第3番《ライン》」を中心に	
11	1/22(木)		「チェロ協奏曲」と「ヴァイオリン・ソナタ 第1番」を中心に	
12	1/29(木)		「ヴァイオリン・ソナタ 第2番」と「ミサ曲 ハ短調」を中心に	
補講	2/5(木) 10:00～11:30		ブラームス訪問と彼に献呈した「序奏と協奏的アレグロ」を中心に	
補講	2/12(木) 10:00～11:30		2度目の精神の危機－「ヴァイオリン協奏曲 ニ短調」を中心に	
連絡事項	* 1：第6回（11月6日）は演奏会を開催します。一般の方も参加できます。かわさき市民アカデミーHPまたは演奏会チラシ（10月1日より配布予定）よりお申込下さい。 当日会場受付にて資料代としてお一人 2,000円頂きます。 ※変更（10/6）：先生の体調不良により10月9日および16日は休講とさせていただきます。23日から開講する予定です。 ※変更（10/29）：補講日を追加しました。			